

消防局実行計画 主要項目・事務事業一覧（H24～26年度）

主要項目	主要事務事業							
	事務事業名	取組概要	目標年度・値		主管	達成度	課題	改善策
01 消防活動体制の充実強化	01 現場到着時間の短縮	市境界付近の出動区域等を見直し、同地域の現場到着時間を短縮します。	H26	3分短縮	情報指令課	100%	勤務体制の強化	問題点、改善点を洗い出し、体制の強化と更なる時間短縮を図る。
	02 現場指揮体制の充実強化	複雑多様化する災害に対応するため、災害現場を統括し部隊を効果的に運用する現場指揮体制の充実強化を図ります。	H26	・～H25年度 指揮隊の運用訓練及び検証 ・H26年度 指揮隊配置	警防課	100%	指揮隊の効率的な運用	運用状況の検証とともに、現場指揮体制確立計画を作成し、更なる検証を行う。
	03 出動車両及び部隊の適正配置	高機能消防指令センターの整備に併せ地域の実情や消防需要に応じた出動車両及び部隊配置を行い効率的かつ効果的に運用し、初動体制の強化を図ります。	H26	・～H25年度 検証・検討 ・H26年度 出動区域及び出動車両基準改正	警防課	100%		
	04 防災体制の充実強化	地震などの大規模な災害が発生した場合に想定される被害等の状況をもとに、災害防ぎょ活動に支障の出ないよう対策を講じます。	H25	災害活動計画策定	警防課	100%	計画に基づく演習の実施	活動計画に基づく演習計画を策定し、演習を実施して計画の見直し等を行う。
02 消防体制の基盤強化	01 高機能消防指令センター整備	指令業務の一元化を図り効果的かつ効率的な指令業務を行うため、消防局に高機能消防指令センターを整備します。また、消防局の現指令センターを災害対策指揮室として整備し、警防本部が迅速的確に意思決定できる体制を整えます。	H26	高機能消防指令センター一元化 100% 4月運用開始	情報指令課	100%	消防指令センターの機能強化	B/C/P策定と通信インフラ冗長化、クラウド化の検討を行う。
	02 消防救急無線デジタル化整備	消防救急無線がアナログ方式からデジタル方式に移行されることから指令センターの整備に併せ、消防救急無線のデジタル化を実施します。	H26	消防救急無線デジタル化 100% 4月運用開始	情報指令課	100%	アナログ無線の撤去	撤去費用及び方法の検討と旧施設の処分時期・方法の検討を行う。
	03 消防用車両等整備	老朽化した消防用車両を計画的に更新するとともに広域化のメリットを生かし、重複車両の削減を行い適切な車両を配置します。	H26	・更新車両 8台 ・削減車両 3台	警防課	更新8台 削減4台 現72台		国庫補助等を有効活用し更新計画に基づき更新・削減を行う。
	04 消防用資機材等整備	防火衣の経年劣化及び広域化による統一化に対応するため、更新計画を策定し、計画的に整備していきます。	H26	・～H25年度 計画策定 ・H26年度 150着更新	警防課	97.7% (176着)	防火衣の整備	引き続き防火衣の更新を実施するとともに、消防用ホースの統一化、更新を図る。
	05 消防庁舎等整備	宇部西消防署楠出張所の老朽化に伴い建替え等総合的に検討し、楠地区の防災拠点として計画的に整備していきます。	H26	楠出張所建設計画策定（H27年度以降 整備）	総務課	100% (策定済)	用地購入→設計→施工→運用開始の推進	宇部市との連携を密にし、円滑な事業の推進を図る。
03 消防行政運営の効率化	01 採用計画の策定	多数の定年退職者（10年で100人、職員の1/3）に伴い優秀な職員を確保するため、採用区分等を見直すとともに将来の定年延長や再任用制度も視野にいたった採用計画を策定します。	H25 ↓ H26	計画策定	総務課	— (新再任用制度の確立)	再任用制度の活用と人材確保	他消防、構成市の動向を踏まえ、また、当組合の状況に沿った任用を行う。
	02 事務執行体制の効率化	事務分掌の見直しや効率化を図るとともに職員配置の適正化を行い、スリムで効率的な行政運営体制を構築します。	H25	組織改正・規程整備	総務課	100%	引き続き事務の効率化を図る組織体制の検討が必要	業務改善について各所属からの情報収集及び連携により業務整理を行う。
	03 人材育成の強化	職員の育成（教育、訓練）及び業務上必要な資格者の養成を計画的に行い職員の一人一人のレベルアップを図り、行政サービスの向上に努めます。	H25	計画策定	総務課	100%		研修の実施と振り返りを行い次年度研修計画に反映させ、当組合に求められる職員を育成する。

消防局実行計画 主要項目・事務事業一覧（H24～26年度）

主要項目	主要事務事業							
	事務事業名	取組概要	目標年度・値		主管	達成度	課題	改善策
04 火災予防の推進	01 住宅用火災警報器設置及び維持管理の普及促進	住宅火災による死傷者や損害の低減を図るため、住宅用火災警報器のさらなる設置対策を進めるとともに維持管理の啓発を行います。	H26	設置率100%	予防課	92%	住宅用火災警報器の経年劣化と消耗品の寿命	概ね10年を経過した住警器の取り替え等についての啓発チラシ等を配布し広報する。
05 救急需要対策の推進	01 救急車の適正利用の普及啓発	救急車の適正利用の啓発活動を推進し、重篤な傷病者への救急体制の確保に努めます。	H26	救急搬送人員における軽症者割合の減	警防課	1.2%減少		引き続き救急車の適正利用の普及啓発に努める。
	02 応急手当の普及啓発	市民の意識向上による救急講習受講者の増加に対応するため消防団と協働し救急講習を実施します。また、応急手当のさらなる普及を促進するため中学校の協力を得て中学生に対する救急講習を実施します。	H26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急手当普及員の養成（消防団員）15人</li> <li>・中学生救急講習 200人</li> </ul>	警防課	目標達成 (普33人 中364人)		応急手当普及員は3年ごとの再講習を実施する。また中学生等の受講者数を増やし浸透させる。
	03 救急搬送体制の円滑化	傷病者の病院搬送を円滑化し、救命率及び予後改善の向上を図るため、医療機関等と協働して対策を講じます。	H26	病院収容時間の短縮	警防課	2分延伸	新輪番病院体制での受入体制についての検証	地域医療協議会等で新輪番病院の体制について分析し、検証を行う。